

猛暑への備えのご紹介

細田木材工業株式会社
代表取締役社長 奥村永徳
(第5班)

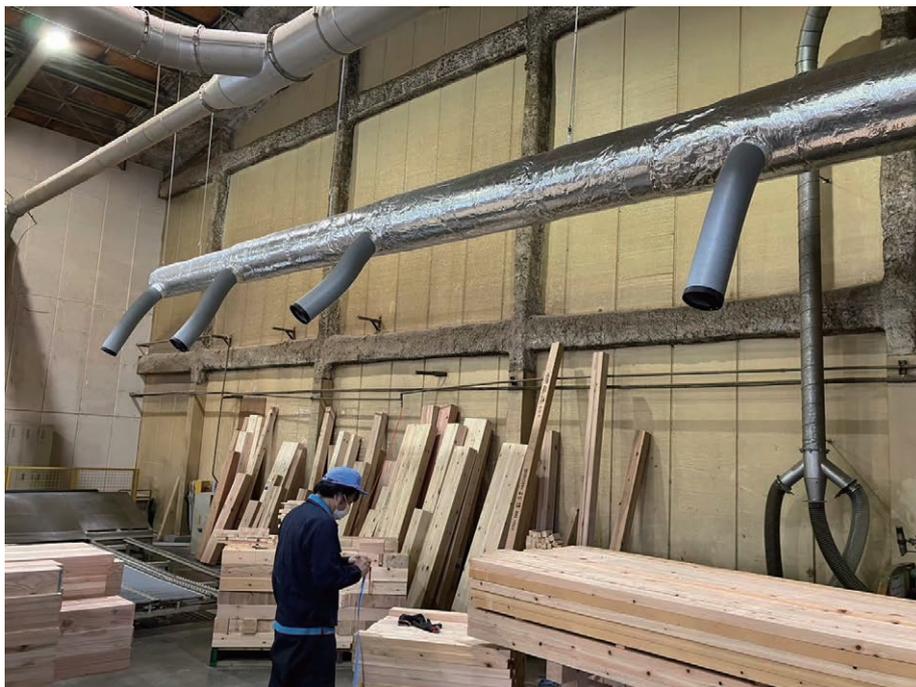
年々暑くなる傾向が続いていますが、今年の夏は、昨年よりさらに暑くなるとの予測がされています。細田木材の加工工場も、暑さ対策に毎年取り組んできましたが、シャッターが開け放しの工場全体に行き渡る、空調設備は非現実的で、これはという手が打てず、苦慮していました。現在は、大型の扇風機を適宜に配置していますが、工場スタッフは一日数回の着替えも常態です。2、3年前には、空調服を支給しましたが、受け入れは今一つで、工場スタッフに対して、さらに良い対策が求められています。

働く環境を良くすることが、熱中症に代表されるスタッフの健康・安全を守り、生産性の向上につながり、暑さからくるミスもなくすことは品質の向上につながると考えます。ひいては、働く環境の改善で、求人条件も良くなり、離職防止にもつながると思っています。今年こそは待たなしでやらなければならない、ということで、現在検討中の暑さ対策を二つご紹介いたします。参考までにお読み下さい。

まずは、スポット型空調機です。

候補になったのは、レンタルで夏場だけ借りられる室外機一体型の空調機、台車に室内ユニットと室外ユニットが一体化され、自由に移動ができるスポット型です。但し、電源コードとドレン水の問題があります。工場のスタッフに勧めたところ、室外ユニットから暖気が出るので結局は暑いということで、見合わせています。

次に、セパレート型の空調機です。



写真の施工事例にもありますように、吹き出し口に工場の端から端まで渡るような長さのダクトを取り付け、ダクトの数ヶ所にジャバラの吹き出し口をつけ、局所的に冷気を送る仕組みです。配管は工場の集塵と似ていてメーカーが取り付けまでを行います。冷却効果は、スポットの温度だと思いますが、40数℃が20数℃になるとのこと。設置した方に新築か既設かを聞いたところ、既設の工場への設置が全て、電気代は、空調機1台につき1時間100円との回答を得ました。

最後に大切なポイントとして、メーカー・業者選びがあります。大手の参入は少なく、選択肢は限られますので慎重に選ぶ必要があります。

また、江東区や東京都の助成金があるか聞きましたが、法人の空調補助についての助成金はありませんでした。但し、個人への空調補助は東京都が行っていることを聞きました。

暑さ対策の機器を導入しましたら皆様にも来社いただき、効果の程を体感いただければと思っています。

これから長く暑い季節が始まりますが、可能な限り工場の暑さ対策を施し、必ず来るであろう猛暑を乗り越えていきたいと思っています。

皆様の良い事例やアイデアがありましたら、是非ご紹介下さい。宜しくお願いします。

追記——空調服の下に着る、冷却機能が備わったベルチェベストの存在を知りました。

冷気を空調服のファンで回すことで効果を発揮します。お試し下さい。



ベルチェベスト



ベルチェベストの上に空調服を着る